

ちいもやもや ジェンダー川柳 コンテスト

12月5日(火)、
エソール広島で
授賞式を
行いました！

お題

「男だから」「女だから」など
性別による思い込みや決めつけて
「もやもや」したこと

「男は仕事、女は家庭」「女のくせに」「男のくせに」...。
こんな決めつけ、もう終わりにしませんか？

募集期間 令和5年9月14日(木)～10月15日(日)

応募総数 1,649句

審査員 上水流久彦(県立広島大学教授、審査員長)

犬山紙子(イラストエッセイスト)

中島尚樹(タレント)

山田幸(日本放送作家協会 中国・四国支部監事)

賞 最優秀賞(1点)、優秀賞(2点)、審査員賞(2点)

※県民審査員が選んだ入賞作品30句の中から、

審査員の合議により決定

県民共感度No.1賞

※入賞作品30句の中から、オンライン投票により決定



川柳コンテストや
入賞作品30句に
ついてはこちら



2023年
最優秀賞

県民共感度
NO.1賞

ご飯まだ？
帰った時刻
同じだよ



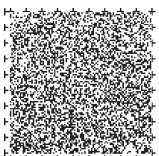
▼作者コメント

父と母は家に帰ってくる時刻が同じくらいなのに、父はすぐに晩酌をして、母は夕食を作っています。父が母に「ご飯まだ？」と言うのを聞いて、もやもやしました。

(10代:女性)

▼審査員コメント

「料理するのは母親」という家族内の性別による思い込みについて、子どもの視点でストレートに表現しています。ドギツとするお父さんもいらっしゃるかもしれませんが、こうした疑問を抱く若者が多くいます。





「手伝うよ」
じゃのおで一緒に
やりますじゃ



▼作者コメント

我が家は夫も家事に協力的ですが、料理だけは「手伝う」と言います。洗車など主体的にやってほしい家事を夫に任せていて、お互い様な部分もありますが…。もやもやを広島弁で表現してみました。

(30代:女性)



色眼鏡
押し付けられて
押し付けた



▼作者コメント

過去に社会や周囲から刷り込まれていたジェンダーバイアスを、年齢を重ねて、今度は自分が押し付けていることに気づきました。偏見にとらわれていたのは私です。

(70代:女性)



早帰宅
見送る上司の
子は三歳



▼作者コメント

「お子さんがまだ小さいから早く帰りな」と、自身も幼い子を持つ男性上司に言われて、もやもやしました。ジェンダー平等という女性活躍がよく取り上げられますが、その裏で男性が我慢しないよう、本当にジェンダー平等な世の中にしたいですね。

(40代:女性)



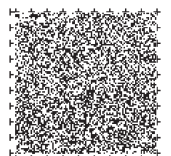
理系です
「女なのには
余計です」



▼作者コメント

私が進路を決める時に、周囲に言われてもやりました。誰もが暮らしやすい社会になることを願い、私も身近なジェンダーの問題に気づき、考えていきたいと思っています。

(40代:女性)





知らんがな
あんたの飯なぞ
知らんがな



▼作者コメント

風邪をひき発熱。どうにか子供たちに
カップ麺を食べさせていると、帰宅した
夫が心配そうに「ママ大丈夫? パパの
ご飯はある?」と言。

(40代:女性)

「いいパパね」
隣に「いいママ」
いますけど



▼作者コメント

父親は育児すると褒められるけれど、
母親は褒められません…

(40代:女性)

ランドセル
「おれはピンク」
悩む親



▼作者コメント

息子は目を輝かせていましたが、親の
方が周囲の目を気にしてしまい「男の
子でピンクは。うーん」と、躊躇してしま
いました。

(40代:性別は答えたくない)

カップル割
同性だけど
使えます?

「カップル」



▼作者コメント

イタズラ使用ではないか? 証明が必要
か? など、対応が難しそうです。

(30代:男性)

こっち見て
契約するのは
私なの



▼作者コメント

車を購入する時に、販売店の方が
夫だけに向けて話しているような場
面があり、モヤモヤ
しました。

(60代:女性)

聞き飽きた
「女の子じゃけえ」
この台詞



▼作者コメント

普段から周りの人たちに言われて、も
やもやしています。

(10代:女性)

男なら
早く着替えろ
教室で



▼作者コメント

「男子は着替えに時間がかからない
し、簡単だから」と、教室に追いやられ
てしまいます。

(20代:男性)

